

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	22	一人ひとりの思いや暮らし方の希望・意向を理解したかわりができていない。	理念を理解し、ご利用者様一人ひとりに想いのこもった言葉かけができる。	施設内研修で接遇について学び、より安心できる言葉かけを実践していく。	3ヶ月
2	25	介護計画にそったモニタリングを実施する上で、現行の記録用紙では十分な情報が集めにくい。	個人記録用紙の変更と、記録の書き方について全職員が理解できる。	記録係を中心に3回の勉強会 1・原稿の問題点の明確化(4/24) 2・他のグループホームとの意見交換会(5/2) 3・施設内で記録の学習会もち、個人記録を改定する。(5/22)	3ヶ月
3	26	その人らしい生活ができるよう考えているが、介護計画に表記されていない。	ご本人の本当の思いや希望が入っている介護計画にする。	ご本人の発せられた言葉を目標とし、生活歴やご本人や家族のご意志を反映した介護計画立案する。	12ヶ月
4	2	外出が少なく地域の一員としての関係作りが不十分である。	地域に溶け込んだホームになる。	地域行事や奉仕活動だけでなく、当たり前の近所付き合いができるよう、買物・散歩を通して近隣の方とあいさつを交わす場を多くもち、顔なじみの関係を築いていく。	常時
5		災害・事故等の緊急マニュアルが作成されているが、現実的な避難訓練がなされていない。	緊急対応は全職員が理解でき、行動できる。	緊急マニュアルの見直し、AED研修時、避難場所なども全職員に伝えていく。 避難訓練は、現実的な方法で行っていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。